

九州建設技術フォーラム 2024

- 日 程 2024 年 10 月 8 日(火)・9 日(水)
- 会 場 福岡国際会議場 1F・2F・3F・4F (福岡市博多区石城町2-1)
- 主 催 九州建設技術フォーラム実行委員会



【開催報告】

【目 次】

■「九州建設技術フォーラム 2024」開催報告

1. 「九州建設技術フォーラム」開催主旨及び実施概要	・ ・ ・ ・ ・	P1
2. 開催結果	・ ・ ・ ・ ・	P1
3. 実施内容	・ ・ ・ ・ ・	P1
●1 日目（10 月 8 日）		
（1）開会式	・ ・ ・ ・ ・	P1
（2）基調講演	・ ・ ・ ・ ・	P2
（3）技術情報提供	・ ・ ・ ・ ・	P2～
・ 技術情報のブース展示		
・ ポスターセッション		
・ 自治体パネルの展示		
・ プレゼンテーション		
・ リクルーティングプレゼンテーション		
・ NETIS 相談コーナー		
・ WEB サイトによるオンライン出展		
●2 日目（10 月 9 日）		
（1）技術情報提供	・ ・ ・ ・ ・	P11～
・ 技術情報のブース展示		
・ ポスターセッション		
・ 自治体パネルの展示		
・ プレゼンテーション		
・ リクルーティングプレゼンテーション		
・ NETIS 相談コーナー		
・ 特別プログラム「土木×落語」		
・ WEB サイトによるオンライン出展		
4. 入場者数内訳	・ ・ ・ ・ ・	P14
5. 出展方法および所属団体別参加実績	・ ・ ・ ・ ・	P15～
6. 一般来場者へのアンケート調査結果	・ ・ ・ ・ ・	P17～
7. 学生へのアンケート調査結果	・ ・ ・ ・ ・	P20～

■「九州建設技術フォーラム 2024」開催報告

1. 「九州建設技術フォーラム」開催主旨及び実施概要

九州建設技術フォーラムは、新しい建設技術の開発・活用・普及の促進をより効果的に図るため、「産」「学」「官」それぞれが新技術の開発・活用の取組みについて情報を発信し、「産」「学」「官」で技術情報のプレゼンテーションや展示、意見交換会等の形をとりながら連携を深め九州のさらなる建設技術の発展を目指すものです。

今年は、メインテーマに「国土を守る、いのちを守る～進化する防災技術とその未来～」を掲げて開催。初日は、九州大学副学長の園田佳巨実行委員会委員長が主催者挨拶を行い開幕しました。今回は、来場者がプレゼンテーションを聴講しやすいように、5分間のインターバルを挟みながら実施。また、例年と同数のプレゼンテーションの実施枠を確保するために、2日目は開始時間を30分繰り上げて9時30分とするプログラム時間の変更を行いました。

プログラムでは、講師に国土交通省国土技術政策総合研究所の星隈順一氏をお招きして「道路構造物の防災・減災対策とマネジメントサイクルの進化に向けて」の演題で基調講演を開催（YouTubeでライブ配信も）しました。

会場計画では、昨年は2Fロビーに設置した新技術相談コーナーを2F多目的ホール内に移動し、「NETIS相談コーナー 九州技術事務所」として開設しました。

技術の出展状況では、ブース展示数は全体で86組織、出展技術数は140、プレゼンテーションには、30組織が参加。WEBサイトを活用して情報発信を行ったのは、82組織でした。

来場者数は、学校4校（九州大学、九州工業大学、福岡建設専門学校、祐誠高等学校）の参加もあり、2日間で2,804名（1日目：1,473名、2日目：1,331名）でした。

また、同時開催イベントとして「インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム第10回ピッチイベント」も行いました（※開催は10月9日のみ）。

2. 開催結果

○リアル展示等開催（ブース展示・ポスターセッション・基調講演等）

【開催日時】 1日目：令和6年10月 8日（火） 13:00～17:00
2日目：令和6年10月 9日（水） 9:30～16:30

【開催場所】 福岡国際会議場1Fロビー、2F多目的ホール、3Fメインホール、4F会議室
（福岡市博多区石城町） TEL.092-262-4700

○オンライン開催（WEBサイト）

【閲覧期間】 令和6年10月8日（火）～令和6年11月30日（土）

3. 実施内容

●1日目（8日）

（1）開会式



・実行委員会役員登壇



・主催者挨拶（園田委員長）

(2) 基調講演 ※聴講者は 724 名 ※YouTube 配信期間：10 月 9 日～11 月 30 日

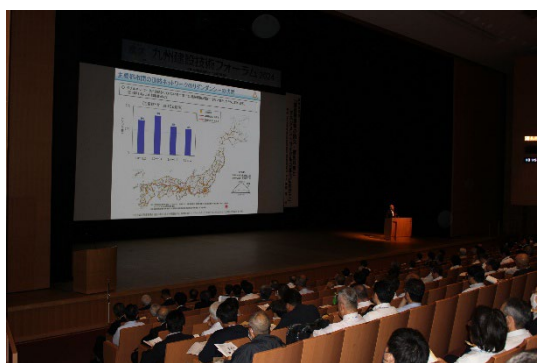
- ・ 演題：「道路構造物の防災・減災対策とマネジメントサイクルの進化に向けて」
- ・ 講師：星隈 順一氏（国土交通省国土技術政策総合研究所道路構造物研究部 部長）



・ 会場風景



・ 講師（星隈氏）



・ 講演風景



・ YouTube の WEB 中継（パソコン受信画面）

(3) 技術情報提供

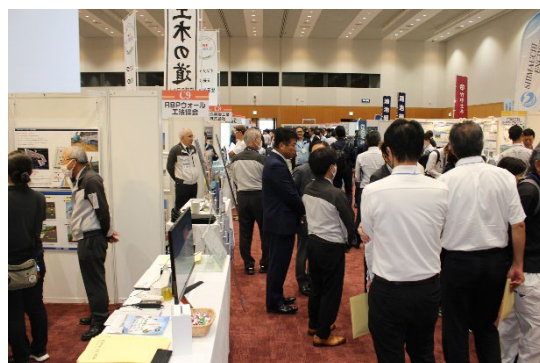
○1 日目（10 月 8 日）

1) 技術情報のブース展示（※10 月 8 日・9 日の 2 日間）

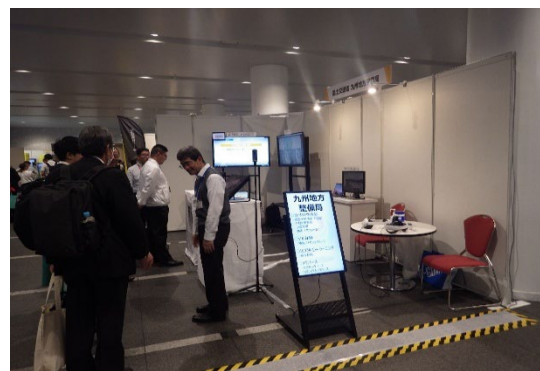
- ・ テーマ：「インフラ DX」「安全防災」「維持管理」「環境」「品質」「学会活動報告他」
- ・ 出展数：86 ブース（出展者数：1 階 10 ブース 2 階 76 ブース）

▼ 2 階会場展示状況





▼ 1 階会場展示状況





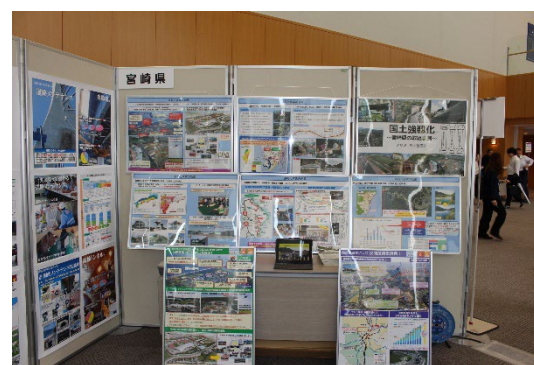
2) ポスターセッション

・出展者数：7（企業・協会：3 学会関係：3 行政（国）：1）



3) 自治体パネルの展示

・出展自治体：10 自治体（福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県
鹿児島県 北九州市 福岡市 熊本市）



4) プレゼンテーション（会場：402・403 会議室+405・406 会議室）

- ・参加組織：30 組織 1 日目（10 月 8 日）→企業・協会（団体）10、学会 1
2 日目（10 月 9 日）→企業・協会（団体）16、学会 2、官 1
- ・分野：インフラ DX 8、安全防災 8、維持管理 8、品質 1、環境 1、学会 3、官 1
- ・聴講者数：1 日目（10 月 8 日）→ 709 名 2 日目（10 月 9 日）→ 863 名



5) リクルーティングプレゼンテーション（会場：413・414 会議室）

九州大学・九州工業大学・福岡建設専門学校・祐誠高等学校が来場し、約 240 名が聴講。

（※参加機関の紹介動画は、専用ホームページで公開）

- ・参加機関：7 組織

（一社）日本建設業連合会九州支部	（一社）日本橋梁建設協会九州事務所
（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部	
（一社）建設コンサルタンツ協会九州支部	特定非営利活動法人九州コンクリート製品協会
（一社）日本建設機械施工協会九州支部	（一社）日本道路建設業協会九州支部



リクルーティングプレゼンテーション参加機関の紹介動画
(※下の画像は専用ホームページから転載)

オリジナルPR動画	
■一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部  公共事業におけるまちづくりを計画、設計 国や自治体の依頼を受け、道路、橋梁、トンネル等の社会インフラの整備を通して住みよいまちづくりを支える技術者集団の業務内容と活躍の分野を、アニメを使って紹介します。	■一般社団法人 日本橋梁建設協会九州事務所  橋で街と街を結び、豊かな明日を拓く 街と街を繋ぐことで円滑な物流を支え、豊かな暮らしをつくる橋梁の建設や補修・メンテナンスに、高度な技術で応えるプロの仕事ぶりを多彩な画像を使って紹介します。
■一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部  確かなコンクリート技術で社会基盤を築く 日本の安全で暮らしやすい国土建設に欠かすことができないコンクリート構造物が果たす役割やさまざまな施工事例等を、わかりやすい動画を使って紹介しています。	■一般社団法人 日本建設業連合会九州支部  活躍の場は日本のみならず全世界へ 国内約50万社で構成される日本トップレベルの業界。活躍の場が全世界へ広がる業界の仕事の内容やビッグプロジェクトに参加する醍醐味を多角的な視点で紹介しています。

6) NETIS 相談コーナー（会場：2F 多目的ホール）



7) WEB サイトによるオンライン出展

- ・出展組織 84 企業・協会（団体）：84
- ・閲覧期間：令和 6 年 10 月 8 日～令和 6 年 11 月 28 日
- ・閲覧者数：172 人（昨年 228 人）
- ・閲覧ページ数（アクセス数）：9,524 回（昨年 2,115 回）



九州建設技術フォーラム 2024 オンラインバージョン

国土を守る、いのちを守る
進化する防災技術とその未来

開催プログラム
「九州建設技術フォーラム2024」の開催プログラムの概要を確認することができます。

出展者等紹介
最新のイベント情報を随時更新中です。詳しくはこちらをご覧ください。

「基調講演」LIVE配信
10月8日の13時15分に開演します「基調講演」は、You Tubeでライブ配信いたします。ご視聴される場合は、クリックしてください。

アンケートのお願い
オンラインWEBサイトで本フォーラムにご参加いただきました皆様には、今後の開催運営の参考とするために、アンケートへの協力をお願いしております。アンケートは、

お知らせ
News

2024年10月11日 [今年の来場者数をお知らせいたします。](#)

2024年10月7日 [「基調講演」LIVE配信について](#)

2024年10月7日 [九州建設技術フォーラム2024 オンラインWEBサイトについて](#)

お問い合わせ 092-284-9211
(業務委託先: 株式会社プランニング松元 担当: 小川・桐洞)

HOME 開催プログラム 出展者等紹介 「基調講演」LIVE配信 アンケートのお願い

・TOP ページ

メインコンテンツ：①開催プログラム ②出展者等紹介 ③「基調講演」LIVE 配信（10 月 8 日～11 月 30 日）④アンケートのお願い

開催プログラム

| 10月8日(火曜日)

時間	場所	内容
12:30～	2Fロビー	受付開始
13:00～13:15	3Fメインホール	開会式 実行委員長挨拶
13:15～14:15	3Fメインホール	基調講演  「道路構造物の防災・減災対策とマネジメントサイクルの進化に向けて」 講師 国土交通省国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 部長 星隈 順一 氏
14:15～17:00	1Fロビー 2F多目的ホール／ロビー 402・403、405・406会議室	技術情報の提供 ■1Fロビー・2F多目的ホール ・ ブース展示／ポスターセッション／自治体パネル展示／新技術相談 ■402・403、405・406会議室 ・ プレゼンテーション(14:30開始) ■オンラインWEB サイト ・ (12:00～)
14:30～	413・414会議室	リクルーティングプレゼンテーション

・「開催プログラム」の詳細ページ（※8日を抜粋）

出展者等紹介

福岡国際会議場の1Fロビー及び2F多目的ホールを会場に、ブース展示での技術情報の発信をしていただきます出展者を、インフラDX・安全防災・維持管理・環境・品質のジャンル別に紹介します。また学会からも3機関の情報を紹介します。

| 出展者検索

検索したい企業名や技術情報名またはフリーワードを入力してください。

| 出展者ジャンル(タイトルをクリックしたら一覧が表示します)

● インフラDX

● 安全防災

● 維持管理

● 環境

● 品質

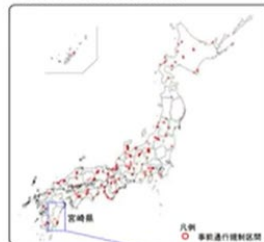
・「出展者等紹介」の詳細ページ

【基調講演】道路構造物の防災・減災対策とマネジメントサイクルの進化に向けて

災害による直轄国道の通行止めの状況

○ 近年の頻発化・激甚化する災害により、直轄国道でも毎年約300回以上の通行止めを実施。
(災害リスクの高い事前通行規制区間は直轄国道で204区間)

■直轄国道の事前通行規制区間

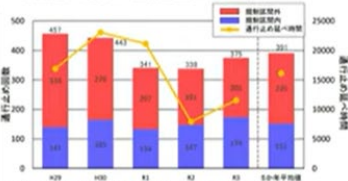


【事前通行規制区間の被災事例】

規制内容：両車線規制（通行禁止）
発生日時：平成29年台風21号（10月10日）
発生場所：国道229号 宮崎県宮崎市
被災状況：延長 約300m、高さ 約300m



■直轄国道の通行止め回数と通行止め延べ時間



■直轄国道の通行止めの原因（過去5年間の原因別平均回数）



※社会資本整備審議会 道路分科会 国土幹線道路部会 高規格道路ネットワークのあり方 中間とりまとめ（令和5年10月20日） 参考資料より抜粋



講師 / 国土交通省 国土技術政策総合研究所
道路構造物研究部 部長

星隈 順一 氏

九州建設技術フォーラム2024

⇒ 限定公開

- ・「基調講演」LIVE 配信の YouTube 画像

アンケートのお願い

WEBサイト閲覧者の皆様へ

本WEBサイトにつきまして、以下のアンケート調査にご協力ください。

Q1.職業等属性についてお聞かせします。

☐ A.企業・協会等 ☐ B.学校関係 ☐ C.行政(国) ☐ D.行政(県市町村) ☐ E.その他(自由業・主婦等)

Q2.『九州建設技術フォーラム2024』を何で知りましたか？（複数回答可）

☐ A.ポスター ☐ B.チラシ ☐ C.ホームページ ☐ D.新聞 ☐ E.その他

Q3.WEBサイトについて、知りたい情報はスムーズに入手できましたか？

☐ A.入手できた ☐ B.入手できなかった ☐ C.わからない

【Q3-1】Q3で「入手できなかった」と回答の方へ。どのような情報が入手しづらかったでしょうか、具体的にお書きください。

Q4.WEBサイトによる情報発信について、今後も継続を希望されますか？

☐ A.希望する ☐ B.希望しない ☐ C.わからない

Q5.WEBサイトの構成内容等について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

- ・「アンケートのお願い」の詳細ページ（※一部抜粋）

出展者等紹介

福岡国際会議場の1Fロビー及び2F多目的ホールを会場に、ブース展示での技術情報の発信をしていただきます出展者を、インフラDX・安全防災・維持管理・環境・品質のジャンル別に紹介します。また学会からも3機関の情報を紹介します。

出展者検索

検索したい企業名や技術情報名またはフリーワードを入力してください。

出展者ジャンル(タイトルをクリックしたら一覧が表示します)

● インフラDX

● 安全防災

● 維持管理

● 環境

● 品質

・「出展者等紹介」の出展技術一覧のページ

株式会社

担当

インフラDX 【出展技術名】

点群データから平面図を作成する際に、地形や地物が確認しにくいという課題を解決する、「ボールド点群テクノロジー」を搭載した全く新しい点群重畳CADシステムです。このテクノロジーは、点の隙間を埋めることで視認性を向上させ、地形や地物をより明瞭に確認できるようにします。平面上でも点群ビュー上でも、図形を確認しながら作図や編集ができることで、平面図作成の品質を向上させながら作業の進捗も明確に把握できる製品です。



出展者の紹介

🏠 ホームページ



出展技術の概要

📄 出展技術概要書

📄 プレゼン用PPT



PR動画

📺 ANISTマニュアル動画

📺 ANISTプロモーション動画



カタログ等

📄 ANISTカタログ

📄 ANISTリリース特典チラシ

HOME

開催プログラム

出展者等紹介

「基調講演」LIVE配信

アンケートのお願い

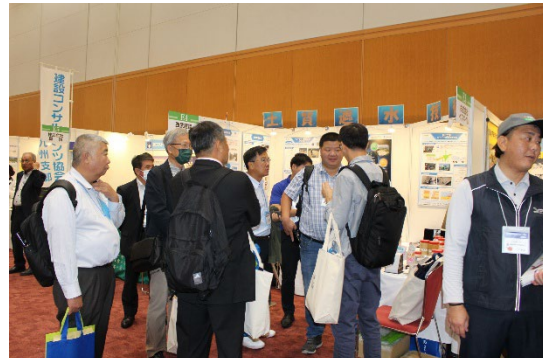
・「出展者等紹介」の出展者紹介固有ページ

●2日目(10月9日)

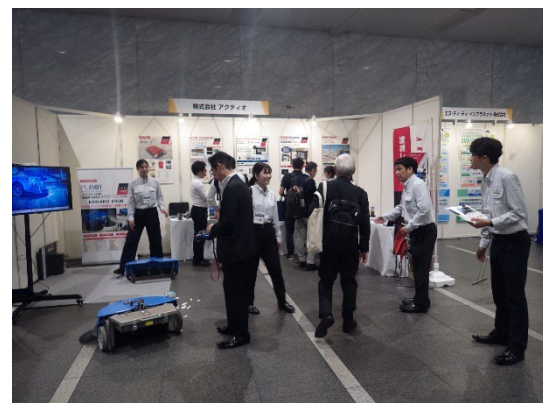
(1) 技術情報提供

1) 技術情報のブース展示(※テーマ及び出展数は8日・9日共通)

▼2階会場展示状況

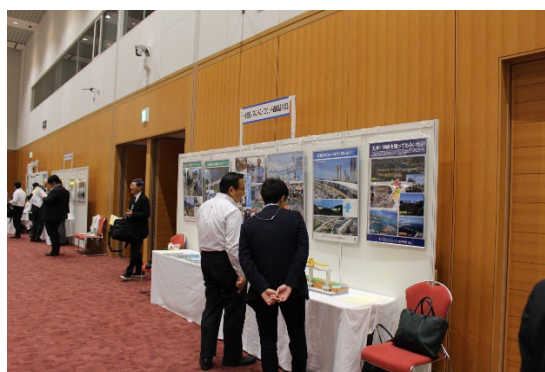


▼1階会場展示状況



2) ポスターセッション

・出展数：※8日・9日共通

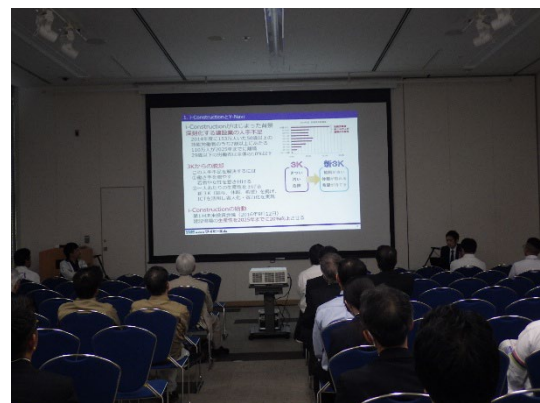


3) 自治体パネルの展示

・出展者：※8日・9日共通



4) プレゼンテーション (※参加機関数やジャンルは 8 日参照)



5) NETIS 技術相談コーナー (会場：2F 多目的ホール) ※相談状況は、P6 参照

6) 特別プログラム：「土木×落語」(413・414 会議室)

(※後日、建設コンサルタンツ協会九州支部ホームページで公開予定)

- ・柳家 小きん 師匠 (一般社団法人落語協会 真打)
- ・来場者数：210 名



7) WEB サイトによるオンライン出展

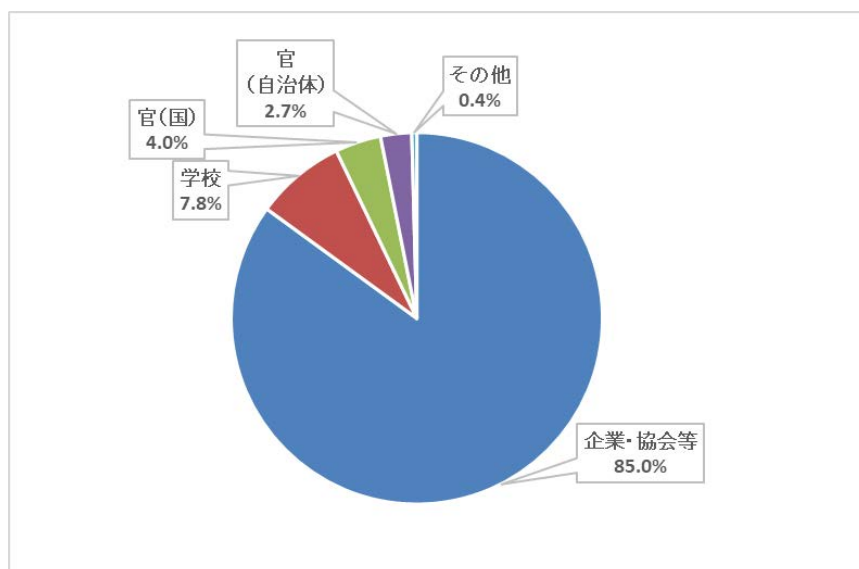
- ・出展内容：※8 日・9 日共通

4. 入場者数内訳

分 類		8日	9日	合 計
産	※出身県別確認不可	1,248	1,136	2,384
	小 計	1,248	1,136	2,384
学	大学	98	30	128
	専門学校	0	59	59
	高校	0	33	33
	その他			0
	小 計	98	122	220
官	国	82	30	112
	地方自治体	39	37	76
	その他			0
	小 計	121	67	188
報道・その他		6	6	12
合 計		1,473	1,331	2,804

		8日	合 計
講演来場者	メインホール会場	724	724
	小 計	724	724

【産学官別入場者内訳】



5. 出展方法および所属団体別参加実績

▼2023年実績

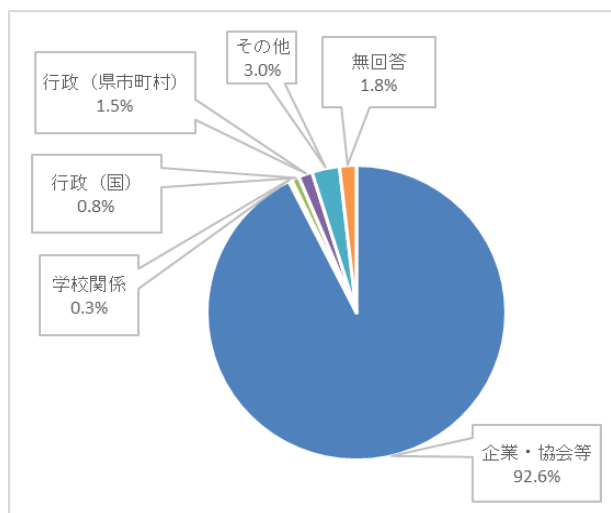
□出展ブース内訳 (ブース)		(ブース)
インフラDX	33	36
コスト	0	0
安全・防災	21	19
環境	8	7
品質	3	4
維持管理	18	17
合計	83 ※学会×3を除く	83
□出展ブース別技術数内訳 (技術)		(技術)
インフラDX	50	32
コスト	0	0
安全・防災	41	54
環境	18	13
品質	4	7
維持管理	25	25
合計	138 ※学会×3を除く	131
□参加企業・官・協会団体・学会数内訳 (組織)		(組織)
企業	67	91
官(国)	2	2
官(自治体)	10	10
協会団体	25	27
学会	3	3
合計	107 ※共同出展は2で計上	133
□ブース出展者履歴内訳 (組織)		(組織)
新規	19	14
出展実績有	67	72
合計	86 ※共同出展は1で計上	86
□ブース出展者所属団体内訳 (組織)		(組織)
日本建設業連合会 九州支部	14	19
日本道路建設業協会 九州支部	1	2
日本橋梁建設協会 九州事務所	1	2
日本建設機械施工協会 九州支部	3	5
日本埋立浚渫協会 九州支部	3	2
プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部	1	3
全国特定法面保護協会 九州地方支部	2	3
全国測量設計業協会連合会 九州地区協議会	0	0
九州コンクリート製品協会	2	1
建設コンサルタンツ協会 九州支部	17	15
その他(大学含む)	42	35
学会	3	3
発注機関	1	1
合計	90 ※一部重複	91
□技術情報の提供方法 (組織)		(組織)
ブース展示	86	86
※()はWEBサイト併用	(82)	(85)
□ブース出展者所在地 (組織)		(組織)
福岡	60	64
佐賀	4	3
長崎	0	0
大分	2	0
熊本	1	1
宮崎	1	1
鹿児島	0	0
関東・甲信越地方	12	12
近畿地方	2	0
中部地方	1	2
山口・中国地方	1	2
北陸地方	0	0
四国地方	0	0
北海道	1	1
東北地方	0	0
合計	85 ※共同出展は1で計上	86

展示種類		出展機関所属団体	出展数	▼2023年実績	
				出展数	
ブ ー ス 展 示		日本建設業連合会 九州支部	14		19
		日本道路建設業協会 九州支部	1		2
		日本橋梁建設協会 九州事務所	1		2
		日本建設機械施工協会 九州支部	3		5
		日本埋立浚渫協会 九州支部	3		2
		プレストレストコンクリート建設業協会	1		3
		全国特定法面保護協会 九州地方支部	2		3
		全国測量設計業協会連合会 九州地区協議会	0		0
		九州コンクリート製品協会	2		1
		建設コンサルタンツ協会 九州支部	17		15
		その他	42		35
		土木学会 西部支部	1		1
		地盤工学会 九州支部	1		1
		九州橋梁・構造工学研究会	1		1
		九州地方整備局	1		1
		合計	90	※一部重複	91
ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン		日本建設業連合会 九州支部	1		1
		日本橋梁建設協会 九州事務所	1		1
		プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部	1		1
		建設コンサルタンツ協会 九州支部	1		1
		土木学会 西部支部	1		1
		地盤工学会 九州支部	1		1
		九州橋梁・構造工学研究会	1		1
		九州技術事務所 (NETIS技術相談)	1		-
		九州地方整備局	1		1
		福岡県	1		1
		佐賀県	1		1
		長崎県	1		1
		熊本県	1		1
		大分県	1		1
		宮崎県	1		1
		鹿児島県	1		1
		福岡市	1		1
		北九州市	1		1
		熊本市	1		1
		合計	19		18

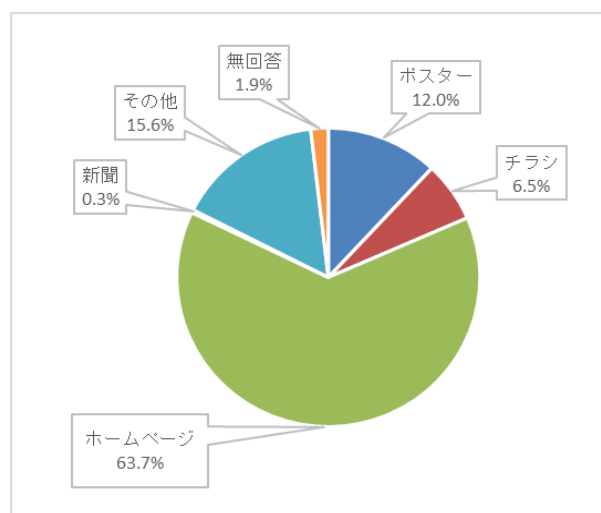
6. 一般来場者へのアンケート調査結果

【来場者アンケート】（アンケート集計数：607件）

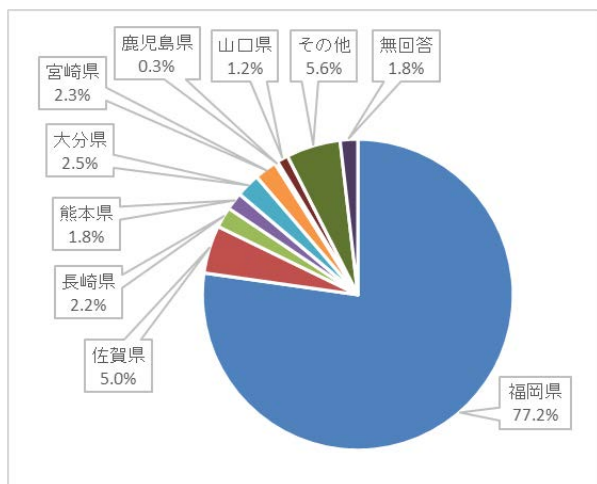
●職業は？



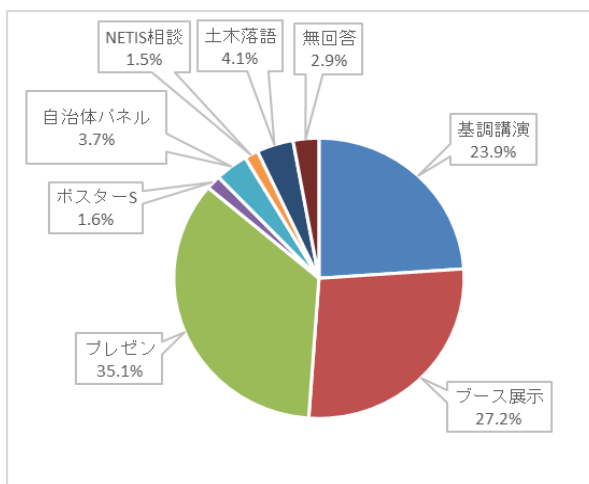
●何で知りましたか？



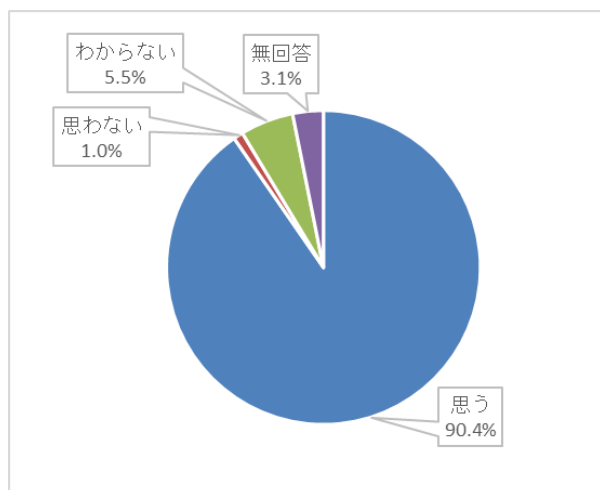
●どちらから来られましたか？



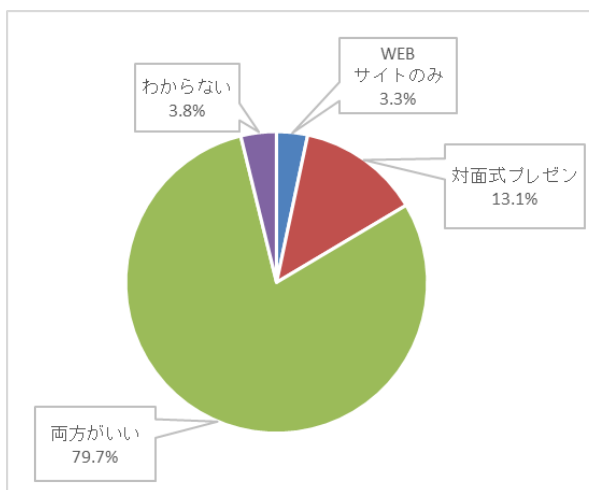
●印象に残ったプログラムは？



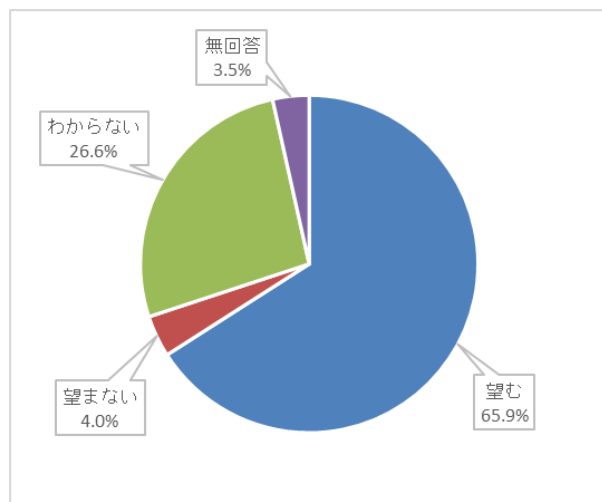
●今後参加したいですか？



●プレゼンテーションの情報発信は WEB サイトも必要ですか？



●「基調講演」のライブ配信を今後も望むか？



●アンケート回答者の書き込み（一部を抜粋）

【Q4-1】「基調講演」について、今後聞いてみたいテーマ等ございましたらお聞かせ下さい。

- ・斜面・法面の耐震診断及び耐震補強の要否。
- ・建設業の魅力。
- ・AI 活用等世界の防災事例。
- ・全国の様々な斜面崩壊形態の紹介とそのメカニズムについて。
- ・災害と直後の対応、復興過程など仕組みの経験談。
- ・LiDAR スキャナによる電子測量。
- ・予防保全に対する取り組み（国及び地方自治体）、担い手（技術者）不足に対する公的支援。
- ・防災と自動化 DX による省力化・効率化。
- ・まちづくりの中における防災計画、安全対策構造の施策について。
- ・脱炭素社会の取り組みについて自治体の事例や今後の目指す社会構築。
- ・道路網の考え方。
- ・働き方改革について、人育（若手）育成について。
- ・若手技術者の育成と技術継承。
- ・点群の活用事例と色々な工程を知りたい。
- ・PFI 方式の活用事例及びマースの具体例について掘り下げて聴講したい。
- ・インフラ分野の DX 技術。
- ・効果的なコンパクトシティ施策の事例、ノウハウ等について。

【Q8】技術の出展方法やプレゼンの実施方法についての気づきや改善点があれば。

●プレゼンについて

- ・プレゼンテーションの質疑応答時、くらいままだったので、質問者と発表者の様子が暗い中行われて違和感がありました。
- ・プレゼンのコーナーを増やして欲しい（3～4会場に）。どの会場も結構満席なので。
- ・プレゼンテーションの場所が分かりにくい。
- ・プレゼンテーションの視聴空間を広くしてほしい。
- ・プレゼン終了後の押印は、前の扉から出て、次の聴講者は後ろの扉から入室するような動線に変えた方が、人の流れがスムーズになる。

- ・プレゼンテーションでは質問等のマイク、資料配布があれば良かった。一部は資料もらえました。

●ブース展示について

- ・ブースの奥行きが狭かった。パネル半分ではなく 1 枚で良かった。
- ・なかなか立ち入りづらかった。歓談場所は別途に設けていただきたい。
- ・建設会社とコンサルで名札の色を変えて欲しい。
- ・ブース運営者の CPDS は、プレゼンテーション聴講を不要にしてもらいたい。
- ・ブース毎にアピールする時間を設けた方が良い（アピール苦手な者もいるので）。
- ・屋外での展示ブースが確保できれば、出展の希望あり。
- ・ブース配置図をもっと設けて欲しい。
- ・UAV、ロボット等のデモをやって欲しい。

●その他

- ・ペーパーレス化に取り組むのも良い。
- ・会場内の床に凸凹があり、歩きづらい。
- ・23 年の熊本のように実物を展示したり、デモンストレーションを行うともっと盛り上がると思う。
- ・2 階に自治体パネルコーナーがあるため会場が狭く感じられるのももう少し工夫を。
- ・飲食店が欲しい

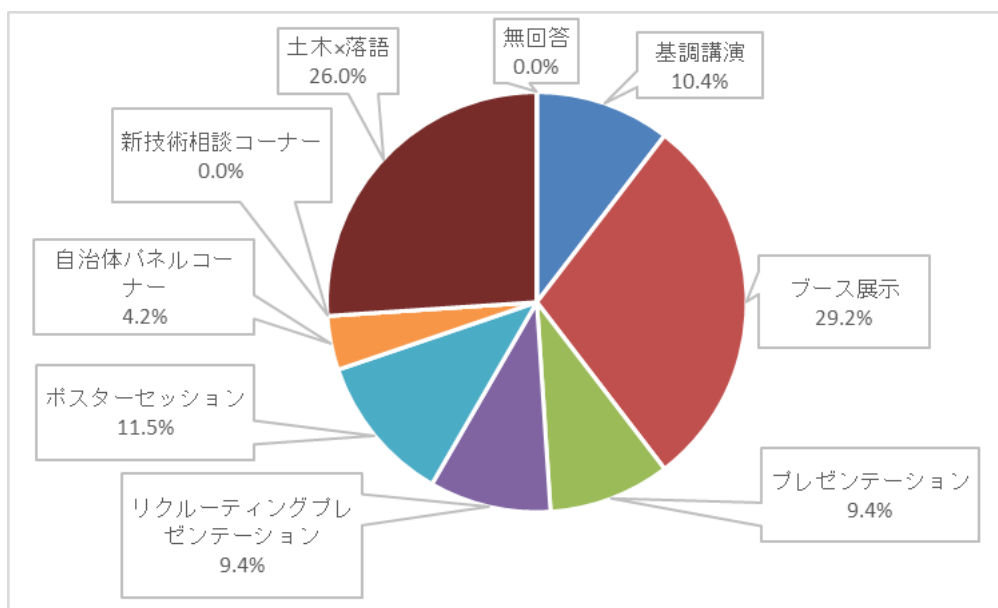
【Q9】九州建設技術フォーラムへのご要望がありましたらお聞かせ下さい。

- ・今後も継続して下さい。
- ・ブースの出展の枠が足りない。
- ・インターネットによる申し込みが前日までとなっている。当日も可能として欲しい。
- ・今後も最新技術の発信の場として、継続的開催を希望します。
- ・プレゼンテーションの部屋では質問のマイクがあった方が分かりやすい。
- ・新しい情報が聞けてありがたいと思っています。来年もよろしくお願いします。
- ・地方（福岡ではない他県）での開催を要望いたします。
- ・時代のテーマに合わせたニーズで引き続きお願いできればと思います。
- ・全業種のプレゼンを聞いてみたい。
- ・学生の参加実績に対して、単位認定の可能性を考えたら良い。
- ・災害、防災を重要なテーマとして欲しい。
- ・最新の技術に出会うことが出来るので、是非継続して欲しい。
- ・若者に土木に関心を持ってもらうために小学生、中学生を招待してはどうか。
- ・出展者にも CPDS ユニットが付与されたら良い。
- ・建コン協の CPD 受け渡し場所が展示物に隠れていて、土木学会の受講票を間違えて受け取ってしまった。分かりやすい所にして欲しい。

7. 学生へのアンケート調査結果

【学生アンケート】（アンケート集計数：76件）

【Q1】 関心を持ったプログラムや技術情報の展示は？



●アンケート回答者の書き込み（一部を抜粋）

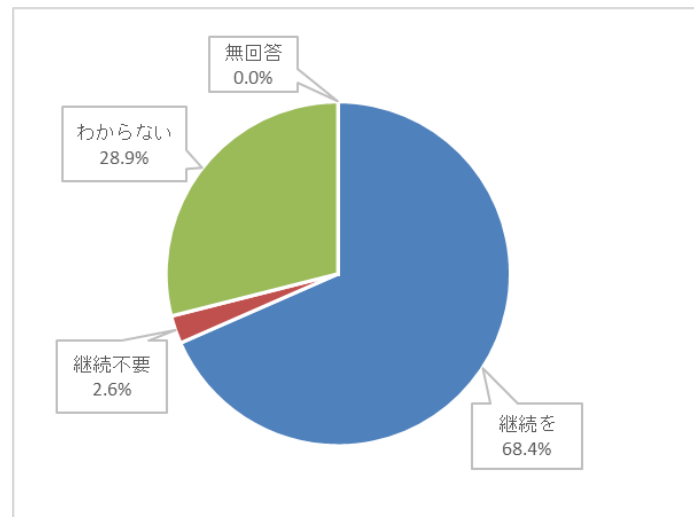
【Q1-1】 とくに印象に残ったプログラムや情報の展示について、その理由は？

- ・ 水平バックボウ 水の中で作業できる所が惹かれた。
- ・ トンネルの補修工事についていろいろな機械を使い工事していた。
- ・ 知らなかった職業や職種について詳しく知ることができました。
- ・ プレゼンでたくさんの業界の話を聞けてよかった。
- ・ 藻がビジネスになっており、興味を惹かれたから。
- ・ 災害の起きた場所へドローンを飛ばす技術を体験しました。
- ・ VR 操作ができて楽しかった。
- ・ 土木技術を応用したクレーンゲームが印象に残った。
- ・ 能登半島地震を踏まえた道路計画について関心がわいたから。
- ・ 施工管理におけるトンネル履行コンクリート技術に興味を持ったから。
- ・ ロボット等の最新技術展示。

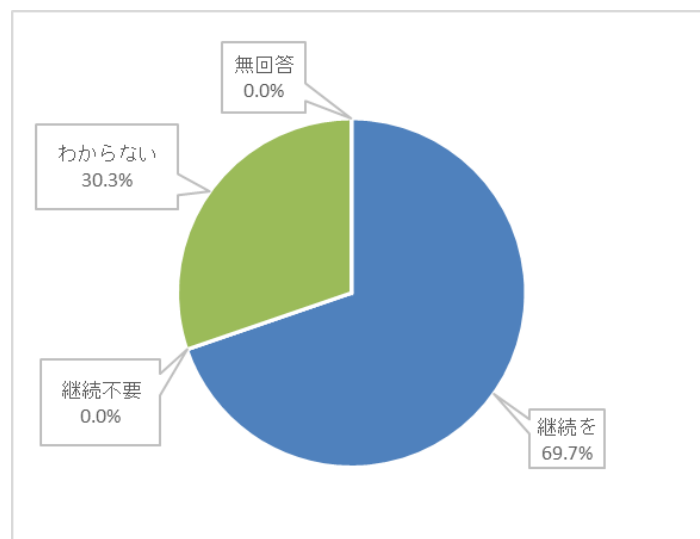
【Q2】 もっと詳しく知りたい、情報が欲しいと思ったプログラムや展示技術は？

- ・ 大きな企業のブースも大変勉強になったが、中小企業のブースは業務が多様に学べることも多かったため、増やしていただけると良い。
- ・ VR 体験だけでなく、そのデータをどうやって作るのか知りたい。
- ・ 企業ごとの技術に関するポスターの縮小版 PDF が欲しい。
- ・ ゼネコン、コンサルタント業界だけでなく発注者側の立場から見た建設技術について、もっと詳しく知りたい。
- ・ 無人化施工技術が詳しく知りたい。
- ・ 実物の展示（技術作品がもっとあればと思った）。

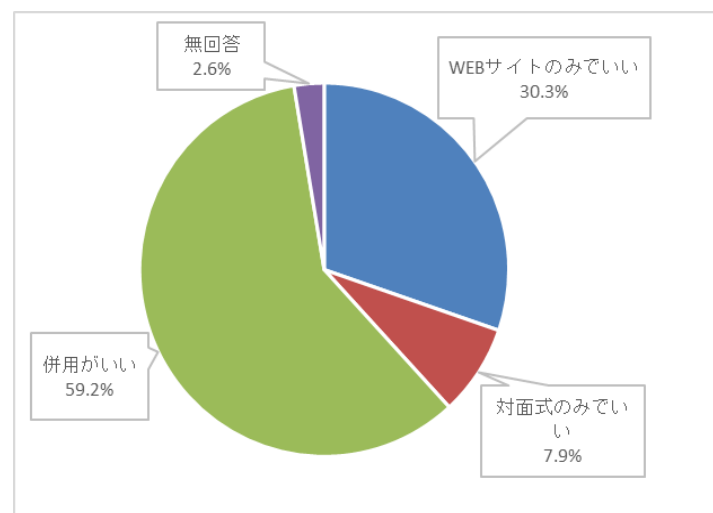
【Q3】今回「基調講演」をライブ配信したが、今後も実施を望むか？



【Q4】「リクルーティングプレゼン」の専用ホームページでの動画配信は今後も継続がいい？



【Q5】対面式のプレゼンに代わる情報発信手法で、来年度以降もWEBサイトが必要か？



【Q6】プログラムや展示する情報について、何か希望やご意見は？

- ・楽しかったです。
- ・また開いてください。
- ・技術の情報ブース展示では各企業の最先端技術などを実際に体験できたりし、分かりやすかったので今後も継続して下さい。
- ・グリーンインフラやカーボンニュートラル、環境問題への取り組みをもっと知りたい。地域での合意形成や倫理面の開示も気になる。